



2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年6月4日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山岡 祥記 TEL 078-822-5000
 四半期報告書提出予定日 2021年6月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の業績 (2021年2月1日～2021年4月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	7,125	5.8	611	186.5	630	171.8	196	197.8
2021年1月期第1四半期	6,734	△17.4	213	△75.0	232	△73.3	65	△88.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	55.87	—
2021年1月期第1四半期	18.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	22,866	16,769	73.3
2021年1月期	24,039	16,778	69.8

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 16,769百万円 2021年1月期 16,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2022年1月期	—	—	—	—	—
2022年1月期 (予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	12,240	6.0	260	—	290	—	150	—	42.66
通期	26,500	3.2	860	14.5	900	4.4	500	42.0	142.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期1Q	3,669,226株	2021年1月期	3,669,226株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	153,562株	2021年1月期	153,497株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期1Q	3,515,715株	2021年1月期1Q	3,516,129株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、2ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	6
販売実績	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による2度目の緊急事態宣言は3月に解除されたものの、4月下旬には3度目となる緊急事態宣言が発出されて景況感はさらに悪化し、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社が属する洋菓子業界におきましても、個人消費は昨年に比べて一部持ち直しの動きがみられたものの、3度目の緊急事態宣言の発出に伴い商業施設の休業や営業時間短縮、不要不急の外出自粛要請などの影響により、再び厳しい状況が続くこととなりました。

当社はこのような環境下にあっても、企業スローガン『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供させていただくことに注力いたしました。また長引くコロナ禍の中で、引き続きお客様や従業員に対する感染防止対策を徹底しながら、設備投資や経費を圧縮するとともに、売上高の変動に応じた人員配置の見直しや商品物量の適切なコントロールに努めました。

売上面につきましては、1月の緊急事態宣言再発出の影響によりバレンタイン商戦は売上が減少したものの、焼菓子や洋生菓子が堅調に推移したこともあり、当第1四半期累計期間の売上高は7,125百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

損益面につきましては、増収効果に加え、売上状況に応じた生産コントロールによる売上原価率の改善、店舗の人員配置の見直しに伴う販売人件費の削減などにより、営業利益は611百万円(前年同期比186.5%増)、経常利益は630百万円(前年同期比171.8%増)となりました。四半期純利益につきましては、新型コロナの影響を大きく受けた子会社、株式会社鎌倉ニュージャーマンに係る関係会社株式評価損220百万円を特別損失に計上したこともあり、196百万円(前年同期比197.8%増)となりました。

しかし、コロナ前である第90期(2020年1月期)同期比では、売上高は12.6%減、営業利益は28.3%減、経常利益は27.3%減、四半期純利益は66.1%減であり、依然として新型コロナウイルス感染拡大前の水準には回復しておりません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バターにこだわった焼菓子ブランド「ガレット オ ブール」や「ファヤージュ」などの焼菓子は好調でしたが、バレンタインやホワイトデーの専用商品の売上が減少し、前年同期を若干下回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、「カスタードプリン」、期間限定商品「とろ生チーズケーキ」、昨秋リニューアルした半生菓子「ブロードランド」などの好調に加え、生ブッセ専門の新ブランド「MOON」の新規出店などにより売上向上を図り、前年同期を上回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は6,826百万円(前年同期比5.0%増)となりました。しかし、コロナ前である第90期(2020年1月期)同期比では、売上高は11.9%減となっております。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、緊急事態宣言の発出に伴う商業施設の休業等の影響があったものの、前年同期が広範囲にわたり出店先商業施設の休業や営業時間短縮が行われたことから、当期以上に売上高が大きく落ち込んでいたこともあり、売上高は前年同期を上回る299百万円(前年同期比28.4%増)となりました。しかし、コロナ前である第90期(2020年1月期)同期の売上高対比では24.6%減となっており、厳しい状況が続いております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ1,173百万円減少し、22,866百万円となりました。資産の増減の主なもの、現金及び預金の増加額4,095百万円、受取手形及び売掛金の減少額4,082百万円、商品及び製品の減少額1,381百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ1,163百万円減少し、6,097百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額971百万円、支払手形及び買掛金の減少額74百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ9百万円減少し、16,769百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加額5百万円、利益剰余金の減少額14百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月16日に発表いたしました2022年1月期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,417,188	7,512,202
受取手形及び売掛金	5,671,457	1,588,953
商品及び製品	2,051,132	669,665
仕掛品	325,788	633,207
原材料及び貯蔵品	373,282	450,135
その他	188,294	253,290
貸倒引当金	△22,660	△6,610
流動資産合計	12,004,482	11,100,845
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,537,767	2,492,957
土地	3,234,338	3,234,338
その他(純額)	1,873,855	1,826,751
有形固定資産合計	7,645,962	7,554,047
無形固定資産		
	120,020	109,538
投資その他の資産		
投資有価証券	1,626,061	1,629,388
その他	2,648,220	2,473,533
貸倒引当金	△5,240	△1,190
投資その他の資産合計	4,269,041	4,101,732
固定資産合計	12,035,024	11,765,319
資産合計	24,039,507	22,866,164

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	926,631	852,251
電子記録債務	1,706,124	734,739
短期借入金	1,850,000	1,850,000
未払法人税等	283,561	312,560
賞与引当金	224,210	498,496
その他	1,615,865	1,264,708
流動負債合計	6,606,392	5,512,755
固定負債		
退職給付引当金	74,677	75,690
環境対策引当金	2,085	—
その他	577,844	508,670
固定負債合計	654,607	584,361
負債合計	7,261,000	6,097,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,919	3,921,919
利益剰余金	9,052,595	9,038,084
自己株式	△665,080	△665,451
株主資本合計	16,046,903	16,032,020
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	441,465	446,887
土地再評価差額金	290,138	290,138
評価・換算差額等合計	731,604	737,026
純資産合計	16,778,507	16,769,047
負債純資産合計	24,039,507	22,866,164

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高	6,734,739	7,125,988
売上原価	3,558,477	3,623,539
売上総利益	3,176,261	3,502,448
販売費及び一般管理費	2,962,691	2,890,615
営業利益	213,570	611,833
営業外収益		
受取利息	546	1,463
受取配当金	1,675	1,350
貸倒引当金戻入額	17,000	16,355
その他	7,600	8,845
営業外収益合計	26,822	28,014
営業外費用		
支払利息	6,728	7,629
その他	1,532	1,250
営業外費用合計	8,260	8,879
経常利益	232,131	630,967
特別損失		
固定資産除売却損	2,332	596
投資有価証券売却損	10,009	—
関係会社株式評価損	—	220,663
従業員休業補償等	72,442	—
特別損失合計	84,784	221,259
税引前四半期純利益	147,347	409,708
法人税、住民税及び事業税	70,132	279,391
法人税等調整額	11,260	△66,115
法人税等合計	81,392	213,275
四半期純利益	65,954	196,432

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定について、重要な変更はありません。

3. 補足情報

販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計 (千円)	6,826,068	105.0
(内訳)		
干菓子群 (千円)	5,231,835	99.2
洋生菓子群 (千円)	1,491,119	130.3
その他菓子群 (千円)	103,112	122.0
喫茶・レストラン事業計 (千円)	299,919	128.4
合計 (千円)	7,125,988	105.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。
	(キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。
	(焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。
	(デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。
	(詰合せ) ハッピーパーティ等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。
	(ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。
	(半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。